

ともに チャレンジ!

～ 美しい「あ・や・が・わ」の進化 ～

あらたな文化 やすらぐ校風 がんばる心 わの精神



令和6年度 綾川中学校学校便り No.28

2024年11月6日

## 綾川中4代目の生徒会役員決定

11月5日(火)に生徒会役員選挙が行われ、綾川中学校の4代目となる本部役員が決定しました。今回の選挙には、本部役員の定数8(会長及び本部役員の合計)に対して、2年生から7名、1年生から12名の計19名と昨年度の数を上回る立候補がありました。この立候補者数からは、次のことを感じました。



- > 現本部役員(3年生・2年生)の活動ぶりがよきモデルとなり、自分も生徒会本部の仕事をやってみようという気持ちが時間をかけて醸成されていたこと。
- > やる気やバイタリティ(活力)にあふれる生徒が潜在しており、学級活動や専門委員会活動、体育祭や校内音楽祭等での経験を踏まえ、その力を更に発揮する場を求めていること。
- > 現在の学校の雰囲気や各種の取組が充実しているからこそ、「もっともっとよくしていこう」とする前向きな気持ちが育っていること。

また、選挙を支えた選挙管理委員会にも、責任感ときちようめんさに満ちた面々が集まり、肅々とその責務を果たしていました。素敵な心意気をもった子どもたちが綾川中学校にたくさんいることを頼もしく、そして、誇りに思います。

投票当日に行われた立会演説会では、さすが立候補者と思わせるすばらしい演説を聞くことができました。力強く説得力のある言葉が並び、アイデアに満ちた公約の数々が発表されました。何よりも堂々とした自信に満ちあふれた態度等からは、聴く者をひきつける魅力がどの立候補者からも感じられました。更には、選挙協力者(応援演説者)の演説も実に見事で、この立会演説会で語った立候補者、選挙協力者総勢38名すべての者が、生徒会本部役員を担う力量が十分にあると実感しました。

さて、文部科学省学習指導要領(平成29年7月告示)解説「特別活動編」において、今回の生徒会本部役員選挙に関連して、次のようなことが大切と謳われています。

「学校生活の充実と向上のために、生徒の総意によって目標を設定し、役員選挙等を通じた組織作りや役割分担を行って協働して実行することの意義を理解し、そのために必要な計画や運営、合意形成の仕方などを身に付ける」



これを受けて、今回の選挙にあたり、子どもたちと生徒会担当教員が9月下旬より準備を進め、「選挙管理委員会の立ち上げ」⇒「選挙告示」⇒「立候補者受付」⇒「選挙運動準備」⇒「選挙運動」⇒「立会演説会」⇒「投票」⇒「開票」⇒「選挙結果発表」⇒「役職決定」⇒「任命」⇒「生徒会活動スタート」と、国政、及び地方自治において行われている手続きを、程度の違いはあれども、ほぼ踏襲し実施しました。記載台や投票箱も実際に選挙で使っている物を町より貸与いただきました。投票時には静寂を保ち、私語や相談する姿は皆無でした。

このように、学校の形成者として生徒会活動に参画するという経験を通して社会の仕組みを体感し、学校への所属感や個々の責任感を涵養しようとした取組になったと捉えています。

昨日11月5日(火)の4校時の途中に生徒会長の当選者が、本日6日(水)の帰りの会時に本部役員の当選者が、それぞれ放送にて公表されました。11月13日(水)には、新役員の任命、及び新旧役員交代式が行われます。新しき伝統を受け継ぎ、生徒会活動が会員全員の「ともにチャレンジ」する精神で、より一層「美しい『あ・や・が・わ』の進化」に寄与することを期待しています。